

タワーへの避難を体験

2025年
11/9

身体障害者白糠分会
津波避難タワーを見学

釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会（石田正義会長）が、白糠地区津波避難タワーの見学を行いました。この日は会員10人が参加し、町の防災担当職員から施設の説明を受けた後、スロープを登り、避難室の見学を行いました。同会の濱野則子事務局長は「会員が避難を体験し、スロープや避難室のトイレを実際に確認することができて安心しました」と話していました。



スロープを登り、避難を体験する会員

美しい音色に心弾ませ

2025年
11/3

バイオリン&ピアノ
名曲コンサート

芸術文化鑑賞会「バイオリン&ピアノ名曲コンサート」が社会福祉センターで開催されました。株式会社オカモト所属のバイオリニスト和光憂人さんとピアニストの長尾崇人さんが出演しました。11回目の開催となる今回のコンサートはクラシック音楽をテーマとして行われ、秋を意識した12曲とアンコール3曲の演奏に、観客から大きな拍手が送られました。



情感豊かな演奏を披露する和光さん（左）と長尾さん

支援体制の強化を図る

2025年
11/11

災害ボランティアセンター
設置・運営訓練

町社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」が保健センターで開催されました。災害時に被災者を支える体制の強化を目的として行われ、釧路管内福祉協議会など50人が参加しました。参加者は、避難所を想定したやまびこ会館で、町職員指導の下、段ボールベットやテントなどを組み立て、ボランティアセンター設置・運営までの流れを学びました。



訓練でテント設営に取り組む参加者

日ごろの成果を披露

2025年
11/9

総合文化祭芸能発表会

白糠町文化協会と白糠町教育委員会が主催する、総合文化祭の「芸能発表会」が社会福祉センターで開催され、出演者が日頃の練習の成果を披露しました。発表会には6団体が出演し、舞踊、手話コーラス、詩吟、大正琴を披露しました。会場には約90人が来場し、各団体の発表に大きな拍手を送っていました。



発表会のトリを飾る大正琴サークルの会員

冬の夜を彩る光のカーテン

2025年
10/31

イルミネーション点灯式

逍遙公園と庶路学園を彩るイルミネーションの点灯式が行われました。逍遙公園会場の点灯式には白糠こども園の園児が参加し、木村政勝副町長と代表園児2人が司会の合図で点灯スイッチを押下すると、イルミネーションが一斉に点灯し、園児と保護者から歓声が上がりました。来場者は、光が織りなす幻想的な世界を楽しんでいました。



光のアーチの中で記念撮影

安全と安心を確保

2025年
10/29

ライオンズクラブが寄贈

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）は、町に携帯型の熊よけ用品等を寄贈しました。寄贈された物品は、携帯型スピーカーから大型犬のうなり声やほえる声が鳴るもので、モバイルバッテリー等に接続して使用します。高橋会長は「皆さんの安全と安心を確保するために使用してください」と棚野町長に手渡しました。



左から山内幹事、高橋会長、棚野町長、山根副会長

たすきをつなげ！

2025年
11/2

白糠町駅伝競走大会

第51回白糠町駅伝競走大会が町内で行われ、町内外から集まった12チームが力強い走り競い合いました。同大会は、茶路小中学校から総合体育館までの5区間（9.5km）のコースで、小学生の部は「阿寒湖義務教育学校」、中学・高校・一般の部は、3区と5区で区間新記録を樹立した「なべ〜特戦隊只今惨状（釧路市）」が優勝しました。



スタートの合図と同時に一斉に走り出す参加者

安全操業と豊漁を祈願

2025年
11/2

第46回ししゃも祭

アイヌ伝承儀式「第46回ししゃも祭」がウレシパチセとアイヌ弔魂碑前広場で行われました。ウレシパチセでのカムイノミ（火の神への祈り）に続き、大雨の影響により例年の会場から移動したアイヌ弔魂碑前広場の会場でヌサオンカミ（祭壇の御幣への祈り）とイチャルパ（先祖供養）の儀式が行われ、白糠アイヌ文化保存会が古式舞踊を奉納しました。



祭壇の前でのクリムセ（弓の舞）奉納